夕刊 常磐毎日

発行所 平市田町75 常磐毎日新聞社 電話1210番 編集兼印刷発行人 吉田 甫

産婦人科 齋藤医院 駅ヨリ三分 平市南町 電九〇二 入室完備

井田に十二年求刑 安斎証言で法廷騒然

好間村々議殺し事件の殺人教サ容疑者井田清造(三一)にかゝる第四回公判は、二十二日午前十時半から地裁平支部法廷で大竹裁判長、松沢検事、秋元弁護人立会で開かれ殺害に使用した兇器短刀二ふり、血染の手袋、包紙等を井田に示したところ〃全部知らない〃と返答、次いで松沢検事から。

「前回に於ける証人、富沢憲男武藤政見の証言は、さきに六月五日の裁判官に対する証言と食違つているので、刑事訴訟法第三百二十一条によつて証拠調べを請求」

したところ、秋元弁護人から「検察官に対する証言には同意出来ない、富沢、武藤らが前回この法廷で述べた事は、真実と思う。（安斎高明に頼まれて矢内をやツつけたと言う証言）そうだとすると被告井田はデマや風説によつて起訴されたものであつて、それでは公平を欠く」と喰い下り注目すべき弁護を行つたが、裁判官側が別室で合議の上。

「諸種の事情により、特別の事情あるとみて、このまゝ取調べを進める」と弁護人の言分を却下し取調べ続行。

問題の証人安斎高明（元小田炭砿資材倉庫主任）が証人台に立ち、「井田の暴状をバク露、富沢、武藤らの前回の証言中、私が矢内さんをヤツつけろと言つたなど、全く出駄ら目である」と証言、更に添田登一富沢憲男らについて、被告井田に不利な証言を述べた。

これに対し井田は、「安斎から金をかりていることだけは本当だが、その他は全部ウソのかたまりだ」と安斎証人に食つてかかるや、傍聴席後方から〃本当だ〃とヤシが飛ぶやら、最前方に傍聴していた安斎氏の夫人が、見るにみかねて被告席につめより〃井田の言うことがウソだ〃と叫んで裁判官に制止されるなどあつて一たん休けい、午後一時から再開された。

午後は検事の論告に入り、傷害一年暴行一年傷害致死教サ十年合計十二年の求刑があつた。

醫藥分業に反對 23日 縣下醫師大會開く

県下医師大会は二十三日午後一時半から郡山市公会堂で開催強制医薬分業法絶対反対運動の具体策を協議する、浜通り地区からは平、石城、双葉などの各医師会代表が大挙参加することになつているが問題についてはさきに浜通り医師会代表者会を開催して反対態度を明示、中央情勢と呼応して速かに県医師大会を開催せよと強力に要求すると共に、全県下の各医師会に強力な反対運動推進のげき文を発していたもので大会の成行きは注目される。

強制医薬分業とは

現在の法律では病気になつた時、自分が診て貰つた医師から薬を貰つて帰り、又は医師と相談して自分の好きな薬局から調剤して貰うことが出来る自由な「任意医薬分業」になつているが、強制医薬分業法」によると特別の場合を除いては医師の調剤投薬を禁止し、薬は医師の処方箋により必ず薬局から貰わねばならないと言うかたくななものになつている。

患者の負担を重くする

そのためこの法律が出来ると患者の方では一回の病気毎に医師と薬局と二つを相手にしなければならなくなり、その負担は倍加されることになるので、病気が重くならぬうちに診て貰うと言うことも従つて困難になり、

また第三者に知られたくない病気を知り合いの医師に頼んで内密に診て貰うなどと言うことも出来なくなる。

特に急病者の場合など医薬分業にさまたげられて適切な治療が出来ず、病状を更に悪化させてしまうような結果もありうるとして全国の医師が挙つて反対している法律である。

銘菓

議員定數で難航 常磐市会

常磐市議会第二日目の二十二日は午前九時から開会、昨日から休議三回という荒れに荒れた議案第三号常磐市議会議員選挙区設置条例設定の件の結論を秘密会議に持ちこんで慎重審議したが結論に達せず午後八時で散会、経続審議で先づ秘密会議を行つた後午後十一時十分開会されるや、駒木根議員から議案三号の修正動議案が提出され採決を促したが西山、伊達両議員から修正案について再度慎重審議したい旨の休議意見が提案され午前十一時二十分再び休議に入るという議案討議の慎重振りがあらわれている。

この市長提出の三号議案の議論焦点は、各選挙区（▽第一選挙区湯本、関船、水野谷▽第二選挙区下湯長谷、上湯長谷、藤原白鳥、西郷、下船尾、長孫、馬玉、岩ケ岡▽第三選挙区松久須根、三沢、上矢田）の議員数即ち一区十八名、二区十一名、三区一名の定員数であるが、合併当時の申合せは湯本十八名、磐崎十二名であつたが、これは湯本に鹿島の合併、磐崎に泉田の合併を予定した場合夫々一名を廻すわけであつた、泉田が磐城市に合併した今日その一名について論議すべきであると湯本側議員の鋭い追及があり、議場は活発な意見が交換されたが、円満解決を図るため秘密会議にもちこんで慎重審議されたもの。

内郷市に水飢饉 三輪車動員して水運び

郡下最大の被害を受けた内郷市はさらに台風被害で水不足をきたし飲料設備のない白水一帯と宮町鬼ケ沢部落は設備はあるが高台の為水圧がなく飲料水に事かき、三輪車を動員して急場をしのいでいる原因は、好間川取入口が台風のため破壊され土砂がろ過池に流出されてろ過不可能となり、現在貯溜されている飲料水で平、内郷、常磐三市民の飲料に供するため各蛇口は微々たる水量しか流水しないためと排水管が埋没し地割れを生じて排水不可能が因となつて高台地の鬼ケ沢、貉根部落が断水されたもので、白水一帯は水道設備がないため川水を使用した部落民は泥水のため使用困難となつたもの

取入口の復舊急ぐ

生命の糧である水だけに好間川取入口の復旧工事を十九日朝から常磐炭砿従業員六十名を出動させて突貫工事を行つており二、三日中には復旧される見通しとなつたがこの間内郷市水道課では市内の三輪車を借用して洒たる三本を積みこみ、毎日三回両部落に水を運搬するという緊急対策を構じている。

吉田に懲役 六ヶ月の判決

警邏中の警官から拳銃を奪つた上持つていた出刃包丁で警官の手首にきりつけた、福井県生れ住居不定無職前科五犯朝鮮人、吉田健一こと辛正植(三一)にかゝる窃盗、傷害事件公判は二十二日午前十時から地裁平支部で開き、懲役六月（求刑六月）の判決言い渡しがあつた。

辛は去る八月十一日午前九時三十分ころ平市南町地内を警邏中の平署員添田巡査に、鈴木肉店から盗んできた肉切包丁をつきつけた上、同巡査の拳銃を奪つて乱射しようとしたが附近の井上勝二さん他三名の署員に取りおさえられたもの。

となつたもの。

落盤で死亡

二十一日午後七時十五分ころ常磐炭砿綴坑新斜坑南二斜坑に落盤があり採炭作業中の採炭補手大場忠さん(三一)は岩盤を頭部にうけて重傷を負つたが、内出血のため同七時三十分ころ死亡した。

窃盗男検挙

常磐署は二十日午後八時ころ住居不定無職草野恒雄(三三)を窃盗容疑で緊急逮捕し、二十二日身柄送検した。

草野は去る五日午前十時ころ常磐市湯本字三函一九会社員鈴木孝平さん(三九)方の空巣を狙い忍び込み、皮製サイフから現金八百三十五円とチケツト二枚、印鑑一ケ時価千六百五十円相当を窃盗し逃走していたもので常磐市に舞いもどつたところを御用

社告

明二十三日は祭日につき休刊させていただきます。

常磐毎日新聞社

出生死亡 廿一日届出

出生＝佃町二〇製材工阿部駿凡さん長男貞夫ちやん。

死亡＝中平窪字高橋三三農業大須賀義英(五五)さん、北目町九製図業小松利寂(四五)さん。

天氣予報

（明日）南東の風曇り一時晴れ間も出ますが午後遅くなつて俄雨の降るところもありましょう（海上）今晩はおだやかですが見とおしが悪いでしょう明日は始めおだやかですが次第に風波が出てきましよう

花は花徳
珍四季花を取揃えて……
皆様方の御出を……
お待申し上げてます……
花徳生花店 平市南町 電一三七六番

食中毒防止週間
御食事のデパート
味自慢…… 出前迅速……
不二屋
平駅前 TEL886 1750

平公衆衛生協会 会長 山崎与三郎
食中毒防止週間 期間13日～24日
福島県平保健所 所長 隆 文雄

割烹 江戸川
才槌小路店 電1021
紅小路店 電1456

食中毒には…… 今評判のミラノール……
あこう薬局 平市銀座 電四四
3本…180
10本…550

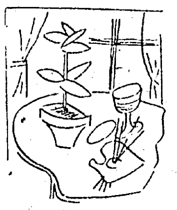
割烹…… 一の井 平市三田小路TEL1109
レストラン…… サニー 平市三田小路TEL1109

御薬の御用命は…… 信用のある……
青葉薬局
本店 平市七町目 電九二七
支店 平市三十米道路

味自慢 寿司 和洋食 御仕出し
有樂 聚楽館横 電1713

足で書く新聞記事 ヒョンなところに特ダネ【27】

かけ出し時代の思い出



「労働争議」も現在では、さほど珍らしくないが、戦争以前の保守政党全盛時代にはめったにない珍らしいことであつた

毎日のコースを終つて、さして面白い事件もないのでさつさと書原稿を送稿し午後になつて、隣町行のバスに乗つた、ところが停留所でない警察署前で停つて、あわてふためいて特高刑事が乗り込んで来る、ハデ何かあつたなあ！奴が出掛けるんぢや、思想犯か？とピーンときた、車内が空いていたので、〃ヤア〃と顔が出合つた、こつちは默つていたところ、彼はそれが気になるらしく、

〃どこへ行ぐんだい？〃とさそえかけてきた、まつてましたとばかり

どこへ行くつて、貴方と一緒の所へ行くんだ〃

と先づ誘え水を向けたら。

「さすがだねえ、貴方のアンテナーは随分早いねえ」ときた、

そこで大したことにもならないだろうと、突込むと、

「行つてみなければ判らないが、なんせあそこは女子従業員が多いからなあ」

との返事である、

そこで、これは隣町のどこかの会社に、争議らしいものが起きている、女子従業員が多いと言へば〃××紡織工場〃に違いないと、始めて事件の輪かくが判つて来た、そこで車中で約三十分位の間、色々細かいことを聞くことが出来た、電話を受けたら急ぐ飛び出してきたので、勿論他社の連中は知らないし、特高関係だから刑事が帰るまでは署でも発表しない、〃特高〃と一緒に現地に乗り込み調査したところ仲々面白い、待遇改善を叫んで女工らが寄宿舎に籠城して紅い気えんを挙げている、寄宿舎に飛び込んで女工らを集めて万才をしている所を写真に撮り、代表者の言分、会社側の話など取材して、現地から未現象のまゝ送稿した、他社の連中に一ぱい喰わしてやろうと考え特高刑事をたぶらかして署へ帰つたのが午後六時近くである勿論何れの社も締切に間に合わない東京紙だけが辛うじて、市内版に記事だけが入つた程度である翌日の朝刊は見事に写真入りの本紙三段抜きの特種となつた、この時はしみじみと先輩の言つた、

〃新聞記者は頭でなく足で書け〃と忠告されたことが、身にしみてうれしかつた。（続）

阿蘇山で心中か
残した子供達を頼むと
内郷の男九州から遺書

ただられた愛慾に子供三人を捨てて内縁の女中と逃避行した代々木愛盛さんの生死を気遣われていたが二十日〃九州の阿そ山に登る〃と熊本市間城郵便局発信の封書が義弟宅に舞いこみ、親族達は悲しみの淵に追いやられ〃いつの日父帰る〃の七文字を胸に刻みこんだ不びんな子等の姿を見ては涙に暮れているという、

家出以来十日を過ぎた二十日午前九時ころ代々木さんの義弟内郷市高坂町桜井支稚夫小堀手ざん宅に最後と思われる遺書在中の封書が配達された、その遺書は親族と子供らに一通ずつしたためたもので、親族宛は、〃九州の阿そ山に登る、現在までの私の行動をゆるして下さい、残した子供をお願いします〃と君の名を慕いつゝ邪恋のきずなを生算すべく独り俗界に旅たたれたものと思われ、残された愛児三人に後髪ひかれる思いにかられ、〃父親のおろかな行動を許してくれよ、一生懸命勉強して偉い人間になつてくれ〃との二通の遺書を読んだ愛児は〃父ちやん死んじや嫌だ〃と泣き叫ぶ、年はもゆかぬ無邪気な子らの姿を見た親族達の歎き悲しみは一通りでなく、目下内郷署から県本部を通じ熊本県警察本部に連絡、代々木さんの捜索に当つているが生死が気遣われている。

小堀さん談

義弟の小堀さんは、「女中の小井戸マツさん(三)には若い色男がいたように聞いていたので、金を目当に叔父さんを甘言で連れ出し途中で姿をくらましたのではないかと思われ、思い余つて独り旅だつたものと推察され、実に不びんでなりません」と語つていた。

教員講習会の受講者

来る二十七日から十一月二十日まで福大学芸学部で開かれる小学校教員資質向上講習会の受講者九十九名が決定し、開講を待つばかりとなつたが、石城地区からの受講者六名が次の通り決まつた。

◆金成将義（平六小）、松崎有光（白水小）、吉田環（好間一小）、河越志津江（高坂小）高木アサ子（湯本一小）、清水則子（夏井小）

なお二十五日午後一時から石城教委出張所で受講者の打合会を開く

坂本氏らを表彰
石城地方町村議員大会

石城地方町村議長、副議長並に議員として勤続十二年以上の功労者二十四名＝議長十名、副議長五名、議員九名＝に対する記念品及賞状与式を行うため二十六日午前十時から錦中学校に於て町村議会議員大会を開催することになつた。なお各受賞者は次の通り

▼議長、坂本太平治（川部）佐藤広治（四倉）山崎登（錦）佐久山保太郎（大浦）根本泰三（勿来）蛯文治（植田）塩沢軍太郎（好間）萩野右吉（下小川）小野磐太郎（大野）宮内喜一（赤井）以上十名、▼副議長、蛭田五六（上遠野）長谷川議久（四倉）樋田磐三郎（植田）渡辺武之進（勿来）高萩凱（永戸）以上五名、▼議員、小野敏闘（川部）草野浅右エ門（上小川）赤津幸之亮（錦）新妻常吉（四倉）佐藤直之助（同）酒井忠太（同）野口春男（永戸）平山昇（勿来）志賀季三郎（高久）以上九名の合計二十四名。

車内スリ

十七日午前十時ころ、常磐線下り二二五列車に乗つていた上遠野村新町四、無職鈴木敏子さん(三四)は列車が平駅到着寸前、手提袋に入れておいた現金三千二百三十円、日掛通帳など在中の黒色ナイロン財布をスリ取られているのに気付き平鉄道公安室に届出た。

また同日午後一時ころ列車待合せのため、平駅待合所で休息中の双葉郡木戸村下小花二八無職二科たきさん(三三)は腰掛の上においた赤色ナイロン製財布（現金五百二十円、裁判用書類在中）を盗まれた。

勿來高の校歌完成
十月九日に晴れて披露

勿来高では校歌も郷土出身詩人草野心平氏に作詩依頼中の処、此の度完成した為校旗、披露を兼ね十月九日午前十時より同校に於て披露会を開催する。作曲は渡辺浦人氏で歌詩は由所ある歴史と自然の美に恵まれ生産の地に誇と希望を抱いた勿来の地に応はしいもので関係者並有志参列の上盛大に実施される。

勿來高校々長談

「勿来は古き歴史の名所であり自然の美に恵まれ草野心平氏も極めて作詩し易かつたとの事である」

校歌

一、阿武隈の南のはての
そのかみの陸奥の門
美しき関跡ちかく
そびえたつ　わが学舎よ
勿来勿来わがらが母校
おゝ　わが勿来

二、炭田と松と桜と
生産と天然の美と
こゝにわれらは学ぶ
まゆあげよ　大き未来に
勿来勿来われらが母校
おゝ　わが勿来

三、松川の磯のとどろき
億年をつねに新し
えの如くわれらが夢は
真と善追つて涯なし
勿来勿来われらが母校
おゝ　わが勿来

主食取締り

県機動班平分遣隊では二十一日午前十時頃平着常磐線上り急行二〇六列車の主食取締りを行い主無し米四十四個約六俵を押収した、検挙者なし。

祖國印
地下足袋
運動靴
長靴
袋屋本店

実演指導
受胎調節指導員講習

明二十二日から八日間平保健所で開かれる受胎調節指導員講習会は浜三郡の助産婦、看護婦、保健婦など約八十名が参集し、平保健所予防課菊地医師の講習をうけるが此の種の試みは県下でもめずらしく各関係者に多くの反響を呼んでいる。

また八日間のうち四日間は六人のモデルを使つて実地講習を行うことになつている、一時間のモデル代五百円で一人二時間づゝ、寝台に横たわるのではあるが平保健所では各層からのモデルを選んで明日の開講を待つている。

働く年少者の保護運動
十月十五日から十日間

平労働基準監督署では来る十月十五日より十日間実施される労働省主唱の第八回〃働く年少者保護運動〃期間を有意義、且つ徹底させるため昨年同様新聞配達従業員の野球試合を開催することになり、各新聞社並に配達関係事業所に呼びかけて二十五日午前九時から同署会議室でその打合会を開くことになつた。

ズボンドロ
追跡して捕る

内郷市綴町七反田無職斎藤武雄(三九)は二十日午后十時ころ常磐市湯本字三函地内の露天夜店雑貨商＝浅川スイ子経営＝内に男物ズボンほか五着（時価四千三百円相当）を風呂敷に包んで店先におき、品物をみていた同市湯本字宝海店員藁谷金光さん(三九)のすきをみて窃取逃走したが、藁谷さんが追跡して同市上町地内で捕み、常磐署に突き出した、

同署では斎藤を窃盗現行犯で逮捕、二十二日身柄送検した。

教室で級友を刺す

二十一日午前八時三十分ころ好間村好間中学校三年生某(一七)と同級生鈴木祥雄君(一七)はさゝいなことからけんかとなり、某は鉛筆をけづつていたナイフを鈴木君の右腹部に突き刺し、全治十ケ間の傷を負わせた。

勿來高運動会

勿来高等学校では十月十七日午前八時より創立第一回運動会を盛大に行はれる。

明るい　静かな
スタンドバー
若草
平市紅小路（大床横）

大谷石
井上
平五電66

今週の映画

各館二十八日まで

◎平館夜の部六、四七　白ろうの仮面　大岡政談妖棋伝　若旦那と踊子
◎聚楽館夜の部六、三〇　楽しい我が家　黒いじゆうたん
◎民劇夜の部六、三〇　破れ太鼓　足ずり師
◎ひかり座夜の部七、一〇　命をかけて　グレンミラー物語
◎世界館夜の部六、二四　鶉の小次郎　此村大吉　地獄極楽大騒ぎ

十月生募集
十月一日新學期開始
科目
洋裁本科＝一ケ年卒業
和裁本科＝一ケ年卒業
創立昭和廿六年
公認　磐城高等和洋裁学院
平市城山六軒門
其の他生花、手芸、文化刺しゆう、日本刺しゆう、フランス刺しゆう、毛糸機械あみもの
◎願書受付中…学生定期の特典あり

第拾三回全国菓子大博覧会名誉大賞牌受賞
銘菓　平餅
御贈答、土産には是非

9個入…小型…¥100	18個…¥450
4〃〃…¥100	24〃…¥600
6〃〃…¥150	36〃…¥900
8〃〃…¥200	36木箱包装¥1000
12〃…¥300	

▼御茶受には小型平餅（１０円）を御利用下さい▼
……全国、地方発送承ります……
御菓子司
松月堂
平市銀座街　電話206番

◎神戸牛肉…
食肉は…
◎季節向：ハムとソーセージ
緑屋本店　平市一町目電五三九
緑屋支店　平市中央通り電七九四

味自慢……
シュウマイ
ワンタン
出前迅速
さかえ食堂
平駅前　電九八八番

石炭は常磐炭礦
夏向に煙突掃除のいらない
煙の少ない
火力の強い
徳用石炭
電話三三七番へ
一俵より御届けいたします
平市田町
常磐炭礦販売KK